

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名：東浦町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考								
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価					今後の展開・改善点等							
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標①	目標②	引き続きコロナ禍における支援体制の維持・強化に努めると共に、引き続き実現性の高い事業計画の策定及びフォローアップができる様に巡回・窓口相談の充実を図る必要がある。				
巡回・窓口相談指導事業	中小企業が抱える多岐にわたる経営課題に加え、新型コロナウイルス感染症対策による景気の急速な冷え込みが懸念される中、短期的な事業継続対策を含めた経営改善普及事業と併走型支援事業としての中期的な経営計画の策定支援等を実施する。また、経営指導員等による経営課題に対する解決に向け具体的な提案と支援を行い、成果へとつなげる課題解決提案も行う。毎年のように大規模な自然災害が発生する中、事業継続にかかる計画立案が重要であることから、中小企業に対し事業継続力強化計画の周知・立案に努め、強靱化に向けた取り組みへの支援にも努める。	・巡回窓口指導実企業数 456社 ・巡回窓口指導件数 1,936社 ・課題解決提案件数 39件 ・経営革新承認件数 6件 ・事業承継診断票作成枚数 4件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導件数 (達成度 134.4%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 130.0%)	30	39	39	総合評価	A	自己評価	A	調査結果	A	満足度	補足	現行どおり	現行どおり	現行どおり	現行どおり	○
記帳継続指導	人的資源の乏しい小規模事業者の経理事務の省力化を図るとともに、財務内容等滞りなく把握することでの確かな経営判断に資する。電子申告の推進を引き続き行うと共に、より複雑化した消費税の理解を促す。また、今後導入の決まっている「適格請求書等保存方式」等の周知に努める。	・指導対象者数 68名 ・指導延日数 479日 ・指導延回数 711回	小規模事業者	指標	記帳指導延回数 (達成度 116.2%)	指標					総合評価	A	自己評価	A	調査結果	A	満足度	補足	現行どおり		現行どおり		記帳担当者の増員を受けて記帳機械化の利用事業所の増加に取り組む。
講習会等	小規模事業者の経営力強化及び持続的発展のため各種講習会等を個別または集団で開催する。集団指導では、知多地域の商工会・商工会議所と連携し、自社の経営分析を踏まえた事業計画作成支援セミナーやサービス向上と技術の習得を支援する業種別講習会を開催する。個別指導では、税務・金融等の相談を実施し、専門家による助言・指導をもとに経営課題の抽出及び解決に向けた支援を行う。	・集団指導 5回、参加延人数 34名 ・個別指導 40回、参加延人数 100名	小規模事業者	指標	集団指導参加延人数 (達成度 87.2%)	指標	個別指導参加延人数 (達成度 476.2%)	21	100	100	総合評価	A	自己評価	A	調査結果	A	満足度	補足	上げる	上げる	現行どおり	現行どおり	経営計画作成セミナーは次年度も継続し、事業計画策定の定着と「マイルストーン」の実践について啓発を図る。業種別講習会については、共催者と連携をより強め、事業者のサービス力向上につなげる。
若手後継者等育成事業	「若手経営者等育成セミナー」では、青年部員自身が成果が期待できるテーマを選定し実施する。また、地域振興の担い手としての知識や資質向上を図るため青年部・女性部それぞれ支部単位での講習会等を実施する。個店の経営力強化を目的とした自己研鑽を行う集合体として「次世代塾」を実施する。	・若手経営者等育成セミナー参加延人数 27名 ・講習会等参加延人数 11名	小規模事業者 青年部員・女性部員	指標	講習会等参加延人数 (達成度 27.5%)	指標	次世代塾参加延人数 (達成度 -%)	10	-	-	総合評価	B	自己評価	C	調査結果	A	満足度	補足	現行どおり	廃止	現行どおり	廃止	青年部・女性部では引き続き自己研鑽のみの研修を実施・参加する。次世代塾については廃止し新たな取り組みを検討する。
祭典事業	地域のにぎわい創出及び町内外への地域産業のPRに向け、産業まつりの商工業者のブース出展等を図る。地域の飲食店を中心に露店ブースを設ける。また、工業ブースも多数設け、企業紹介・自社製品のPR・認知度向上への視座の創出を図る。（例年4月開催の於次まつりについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）	新型コロナウイルス感染症による自粛要請の為中止	中小・小規模事業者	指標	出展事業者数 (達成度 -%)	指標					総合評価	-	自己評価	-	調査結果	-	満足度	補足	下げる		現行どおり		新型コロナウイルス感染症対策に取り組みながら、祭典事業に取り組み、行政と連携し事業者の認知度向上及び販売機会の創出を図る。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名：東浦町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考									
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価				今後の展開・改善点等								
会員交流事業	地域活性化と会員の異業種交流を目的とした事業を通じて、事業者間及び行政、他団体との情報交換の機会を設けることで、地域内での今後のビジネス向上への活用や地域振興の取り組みへの機運を醸成する。	・会員親睦事業参加延人数 32名 ・各地区運営指導（5地区） 25名	中小・小規模事業者	指標	参加延人数 (達成度 20.4%)			指標	参加延人数 (達成度 %)			多くの事業が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛または中止となった中、会員親睦事業を行うことができた情報交換の機会を設けることができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に行いながら、賀詞交歓会と会員親睦事業を行えるよう努めるとともに、地区運営事業への参加者数の増加を図る。			
				目標数値	280	実績数値	57	目標数値		実績数値					C	B	必要性	新型コロナウイルス感染症により一部事業中止	下げる		実施方法①	実施方法②	
															D	A		現行どおり					
ウェルネスバレー・街づくり事業	ウェルネスバレー構想推進のため、ウェルネスバレー機関と地元企業を中心としたものづくり企業とのマッチング事業やウェルネスバレー機関が開発に加わった健康長寿関連の商品・サービスに対して認定を行う「ウェルネスバレーブランド」の認定支援事業、健康ゾーンを中心とした「土地利用に係る開発調整とまちづくりの将来像の共有」を推進する事業等に取り組む。 卸・小売、飲食店、サービス業等の商業を主対象とした経営ゼミナール「あきんど塾」を開催し、IT、SNSを活用した販路拡大等への取り組みを支援するとともに事業の持続的発展に寄与する。また、商店組織への活動支援を行う。	・ウェルネスバレー等参加事業者数 3社 ・あきんど塾参加者数 15名	中小・小規模事業者	指標	ウェルネスバレー等参加事業者数 (達成度 30.0%)			指標	各事業参加延人数 (達成度 23.1%)			ウェルネスバレー事業では医福工連携シンポジウムやアイデアボックス事業に3社参加した。あきんど塾は2日間（計画では3日間）に渡り開催し、コロナ対策関連融資、補助金及び動画を活用したプロモーションについて学び、参加者の資質向上を図った。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	ウェルネスバレーに係る医福工連携事業に参加する事業所の掘り起こしが必要である。あきんど塾では、新たな視点を経営に取り入れ、顧客獲得力を強化する内容を企画したい。 緒川商栄会では引き続き地域振興事業に注力していく。			
				目標数値	10	実績数値	3	目標数値	65	実績数値	15				C	B	必要性	新型コロナウイルス感染症により一部事業中止	下げる		下げる	実施方法①	実施方法②
															D	A		現行どおり	現行どおり				
調査・広報事業	小規模事業者にとって有益と思われる国・県等の小規模事業者施策、各種補助金・助成金等多くの情報を発信することで、事業者の個別にニーズに対応し、事業者の施策利用の促進を図るとともに商工会事業についても周知し、理解を深めてもらえるよう努める。	・広報の発行回数 12回 ・ホームページによる情報発信	中小・小規模事業者	指標	広報誌発行回数 (達成度 100.0%)			指標	広報誌発行回数 (達成度 %)			コロナウイルス感染症拡大に対する施策について、広報誌、ホームページにより情報提供を行い、事業者の施策利用を促進することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	コロナウイルス感染症に係る施策についてその導入や変更を円滑に周知し、利用促進を促すため、臨機応変な対応に努める。			
				目標数値	12	実績数値	12	目標数値		実績数値					A	A	必要性	A	現行どおり		実施方法①	実施方法②	
															A	A		現行どおり					
雇用促進事業	優良従業員表彰を実施し、従業員の定着化及び勤労意欲の高揚を図ることで中小企業・小規模事業者の経営基盤の安定に寄与する。また、雇用促進を支援するため近隣市町と連携し、新規学卒者を主な対象とした合同企業説明会を実施する。	・優良従業員表彰者 8名 ・合同企業説明会開催 1回	中小・小規模事業者	指標	優良従業員表彰者数 (達成度 53.3%)			指標	優良従業員表彰者数 (達成度 %)			優良従業員表彰を実施し、従業員の定着化及び勤労意欲の高揚に寄与した。刈谷市で予定していた合同企業説明会はコロナウイルス感染症拡大防止のため昨年に引き続き中止となったが、半田市での説明会では多くの学生が来場し、参加事業所の雇用機会の提供ができた。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	優良従業員表彰はコロナ禍における社会情勢に鑑みて申込の減少が見込まれるため目標を下げる。 合同企業説明会については今後も近隣団体と連携し企業の人材確保に努める。			
				目標数値	15	実績数値	8	目標数値		実績数値					C	A	必要性	新型コロナウイルス感染症により表彰の場である総代会を中止	下げる		実施方法①	実施方法②	
															C	A		現行どおり					
部会・委員会事業	工業では、自然災害が発生した際に、早期に事業を再開できるように事業継続計画を策定する研修会等を行うとともに、将来のものづくりとひとつづくりのため、産業まつりに工業部会のブースを出展する。商業では、産業まつり当日に抽選会を開催し、にぎわい創出に努めるとともに参加企業の事業発展に資する事業に取り組む。各委員会について必要に応じて適宜開催する。	・部会・委員会活動 4回	中小・小規模事業者	指標	各役員会等開催回数 (達成度 11.4%)			指標	抽選会加盟企業者数 (達成度 -%)			新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら、工業部会ではテレワークセミナー、商業部会では一店造品運動を実施し、参加事業所の発展に資する取り組みを行った。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分務め、コロナ過での活動を行う。商業部会では産業まつり大抽選会及び造品展示会について従来どおり実施する。工業部会では事業継続強化計画の普及を図りたい。			
				目標数値	35	実績数値	4	目標数値	85	実績数値	-				C	B	必要性	新型コロナウイルス感染症により一部事業中止	下げる		下げる	実施方法①	実施方法②
															C	A		現行どおり	現行どおり				

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名：東浦町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考					
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等				
福利厚生事業	中小企業・小規模事業者における従業員等の健康と福祉の増進、利便性の向上に資することを目的として、法律で年一回の実施が義務づけられている定期健康診断を実施し、合わせて各種共済制度の普及を図る。	・各種共済制度の加入件数 50件 ・事業所健康診断の受診者数 69名	中小・小規模事業者	指標	各種共済加入件数 (達成度 125.0 %)			指標	事業所健康診断受診者数 (達成度 98.6 %)			共済制度の普及については事業所の必要性に鑑みて推進することに努めた。事業所健康診断については、事業所に求められる従業員の健康管理に資することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	引き続き相手の目線に立って共済制度普及に努めていく。健診事業については需要に合わせて実施時間等を見直す等柔軟に対応していきたい。
				目標数値	40	実績数値	50	目標数値	70	実績数値	69				目標達成度	A	必要性	A	現行どおり	
労働保険事業	労働保険料の申告・納付、従業員の入退社に伴う届出書類の作成等の事務を委託することで、中小企業・小規模事業者の事務負担軽減を図る。また労働保険事務を円滑に進めることで、日々多忙な事業主の事業への注力を促し、労働者との良好な労使関係の構築、経営基盤の安定に寄与する。	・受託事業所数 115事業場	中小・小規模事業者	指標	受託事業所数 (達成度 94.3 %)			指標	(達成度 %)			事業場に応じた申請・届出及び適正な保険給付の助言・指導を行い、労務における事務手続きの軽減に一定の効果が得られた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	未加入事業所に対し労働保険の理解を促し受託増加を目指す。既存事業所に対し制度改正等新たな情報を適宜提供し、良好な労使関係の維持に寄与する。
				目標数値	122	実績数値	115	目標数値		実績数値					目標達成度	B	必要性	A	下げる	
青色申告会・法人会事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体、地域貢献団体との連携や活動の支援を通じて、国・地方公共団体・地域社会への貢献や発展に寄与し、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	青色申告会・法人会の役員会、研修会等の開催 8回	青色申告会員・法人会員	指標	各役員会等開催回数 (達成度 47.1 %)			指標	(達成度 %)			コロナ禍で研修会等の開催を制限され開催回数は大幅減となったが、実施した研修会では時勢に合った税制や経営の知識習得ができ、税に対する意識向上の一助となった。	総合評価 B	事業実施評価 B	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	従来通り税制など税に関する知識の向上を図るとともに理解を深めていく。但し、コロナ禍により開催回数を下げざるを得ない。
				目標数値	17	実績数値	8	目標数値		実績数値					目標達成度	C	必要性	A	下げる	
産業団体事業	東浦町資源リサイクル推進協議会や日本容器包装リサイクル協会の事業活動に協力することにより、中小・小規模事業者の社会的貢献や循環型社会実現に向けた一助となり、ひいては商工業の発展に資することを目的とする。	・マニフェストの作成枚数 51枚 （マニフェストとは産業廃棄物を処理委託する際に事業者が廃棄物の業者間の流れを確認できるように作成する管理票） ・容器包装リサイクル事業の周知、申込書類の受付	中小・小規模事業者	指標	マニフェスト作成枚数 (達成度 102.0 %)			指標	(達成度 %)			循環型社会における資源の有効利用・再利用に対する意識の向上と産業廃棄物処理の省力化の一助となった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	引き続き循環型社会における資源の有効利用・再利用などの周知を図るため、事業者への情報提供を行いたい。
				目標数値	50	実績数値	51	目標数値		実績数値					目標達成度	A	必要性	A	現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。